

イノベーション研究 分野横断研究の推進、新しい教育の基盤構築

# 研究哲学に裏打ちされた知識創造活動

代表者：由井 伸彦（マテリアルサイエンス研究科 教授）

## 活動内容

- 独創的な研究に取り組む研究者に共通する哲学・動機付けと背景にある研究室の文化を探る -

### 1. 由井コロキウム(公開討論会)の実施

「研究哲学」続編の出版を目的として、教員と学生、マテリアルサイエンス研究科と知識科学研究科、産と学の異なる立場から、隔週毎に公開討論を行っている。

- プロジェクトメンバー各々が自らの体験を振り返り、日々の研究実践の文脈と照らし合わせながら、それらの有意義な意味付けを探求する。
- 事象の背後にある本質(リアリティ)を捉える観点から、情緒の動きに着目し、創造性との関連を探求する。
- 研究は全人的な行為であるとの観点から、独創的な研究に必要な心構え(哲学)や教育の在り方について議論を進める。



### 研究哲学

研究は人格である

由井コロキウム 編著  
A5判 297ページ  
発行元：JAIST Press  
出版年：2005年

### 2. 研究者の動機付けと成長過程の研究

- 日本人学生と留学生の動機付けについての比較調査を行う。
- 日本文化の特性を活かしながら独創的な研究を行うための研究者の成長過程と、それに伴う動機付けの発展的变化を、「守・破・離」を基盤として探求する。

### 3. 研究室の組織的知識創造研究

- 独創的な研究に取り組む研究室の事例調査を通して、研究・教育活動の現場を詳細に観察し、背景にある文化の特徴を明らかにする。
- 独創的な研究に取り組む研究室が保持する文化が研究者に与える影響について組織的知識創造の観点から探求する。

## 研究メンバー

水谷 五郎 (マテリアルサイエンス研究科 教授)

本多 卓也 (知識科学研究科 教授)

鶴岡 洋幸 (科学技術開発戦略センター 研究員)

吉永 崇史 (科学技術開発戦略センター 研究員)

LOCHAROENRAT, Kitsakorn (マテリアルサイエンス研究科 博士後期課程 RA) 2007年9月まで